

# 令和2年度 中伊豆小学校グランドデザイン

## PLAN

### 学校での子どもの姿

- 明るく素直であり、指示されたことや頼まれたことはよく守って実行する。
- 友達や下級生、お年寄りなどに優しく接する。
- 自ら考え、主体的に行動する力が弱い。
- チャレンジ精神と目標に向かって粘り強くやり抜く気持ちが乏しい。
- 学力の基盤となる基礎的・基本技能の定着が今一歩的な知識・技能の定着。

### 経営方針（学校経営目標）

- 1 凡事徹底を常に意識し、日常の積み重ねを大切にす
- 2 特別支援学級を大切にしたい学校づくり(特別支援教育への理解)
- 3 授業を中心に確かな学力と良好な人間関係を築く
- 4 「なぜ、それを行うのか」「何を教えるか」を問い続け、ねらいを明確にもつ
- 5 適切な予算執行と校務の効率化を工夫し、推進する

### 保護者・地域の願い

- ・思いやりのある優しい子
- ・挨拶のできる子(家庭や地域で挨拶保護者評価AB86%)
- ・自分の考えを言える子
- ・目標をもって挑戦する子
- ・粘り強くやり通す子
- ・協調性のある子
- ・善悪の判断ができる子
- ・素直で正直な子

### 学校教育目標 **凡事徹底**

当たり前のことのできる子  
当たり前のことを一生懸命やり通す子

### 重点目標 時を守り 場を清め 礼を正す

### 国・県・市の教育施策

### めざす教職員像

～頼もしい教職員～

- ・親身に子どもに寄り添い、子どもの視点を大切にす教職員
- ・子どもの成長を共に喜ぶ教師集団
- ・優しさと厳しさのバランスある指導
- ・生命、人権にかかわることに毅然と臨む「チーム中伊豆小」
- ・効率的な職務遂行に努める教職員
- ・教育公務員としての使命感を自覚し実行する教職員

### めざす子ども像

- ・自分から進んで学ぶ子
- ・自分らしく表現のできる子
- ・当たり前のことを生懸命にやり通す子
- ・感謝や思いやりの心がある子
- ・苦しいことにも進んでチャレンジし続けていく子

### めざす学校像

- ・学ぶ意欲にあふれた学校  
授業改善 基本的な学習習慣の確立  
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- ・子どもにとって明るく楽しい学校  
居場所と活躍の場 明るくうるおいのある環境
- ・子ども・保護者・地域から信頼され愛される学校

指導方法改善・学級経営計画の修正



### 確かな学力

～仲間と一緒に本気で学び合う～

- 1 望ましい学習習慣の定着  
(チェックリストや毎時間の振り返りを活用)
- 2 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着  
(漢字の読み90%、書き80%、算数の技能80%以上)
- 3 思考力・判断力・表現力の育成  
(聞く 教師評価ABが90%、「話す」80%)
- 4 学び合う学習集団の育成  
・アクティブラーニング ・特別支援教育を意識した授業
- 5 総合的な学習の時間(やませみ学習)の充実  
学年課題や個人課題への挑戦 地域との連携 プログラムの推進
- 6 読書活動の推進(本をよく読んでいる児童評価ABが75%)

### 豊かな心

～あこがれや関わりをつくる～

- 1 よりよい人間関係の育成  
(学校が楽しい 児童評価AB94%)
- 2 基本的学習習慣の育成  
(気持ちのよい挨拶 教師評価AB75%  
気持ちのよい返事、手洗いうがい)
- 3 思いやりの心の育成(心の日、さん付け)
- 4 感謝の気持ちの育成(ありがとう 教師評価AB95%)
- 5 家庭との連携(子どもと保護者に寄り添った対応)



教育活動の改善・教育計画の修正

### 健やかな心身

～友達との絆を深め、心と体を鍛える～

- 1 友達との絆を深め、協力して活動する子の育成
- 2 継続して運動する子の育成  
(めあてをもって体力作りに取り組む児童評価ABが87.5%)
- 3 元気に外遊びができる子の育成  
(進んで運動したり遊んだりしている児童評価ABが90%)
- 4 自分の思いを表現する子の育成
- 5 歌声を響かせて楽しく歌う子の育成  
(せいはいっぱい歌っている児童評価ABが87.5%)
- 6 心身共に健康な児童及び教職員

### 安心・安全で開かれた学校

～地域に誇りがかりで共に学び合う学校づくり～

- 1 いつでも学校開放
- 2 地域人材や地域環境を生かした積極的な交流活動  
(地域が学校を支援する活動が活発である 保護者評価AB95%)
- 3 学校からの充実した情報公開(各種たより・HP)
- 4 危機管理の徹底(危機管理マニュアル・避難経路・安全点検)
- 5 適正な備品管理と施設・設備の有効活用
- 6 行政や他の関係機関との連携・共働



学級経営(自己存在感・自己有用感をもたせる)

Action

CHECK

Action

- ・学校教育目標、重点目標、教育課程、教育計画、実践活動に対する評価を実施する。各行事で評価を実施する。
- ・子どもの姿を評価する。(アンケートは、A・B・C・Dの選択)
- ・1,2学期末に児童、保護者、教職員が評価を実施し、改善に生かす。年度末には学校関係者による評価を実施する。
- ・QUを2回実施し、結果を有効活用する。

保護者や地域、こども園や中学校との連携  
(小1プロブレム・中1ギャップの解消)